

## 『ワクチンを打ってコロナに打ち勝とう』

中谷 圭(旭丘 31 回生)

皆さんこんにちは。第31期卒業の中谷圭です。

服部先輩から還暦を迎えた頃のOBに巻頭の記事を依頼しているといわれ、私に白羽の矢が立ってしまいました。私は現在岐阜市内で妻と共にクリニックをやっております。

昨年からはじめ、1年を優に超えるコロナ禍の中で現役生の皆さんは、大会が中止になったり、練習や対外試合が制限されたりと、本当に寂しい日々を送られていると思います。私も一昨年本当に久しぶりに四校リーグに参加させていただき、卒業以来お目にかかるような懐かしい先輩や後輩たちと楽しい時間を過ごさせてもらいました。この年は腰痛のため残念ながらゲームに参加できなかったため、来年は是非ゲームにも参加しようと意気込んでいたところ、憎きウィルスのせいで中止となってしまいました。今年もどうも中止のようで、非常に残念です。

コロナウィルス蔓延のためにこの1年あまり、日本中で経済的にも文化的にもいろいろな制限がされ、全ての国民が本当に疲弊しきっていると思われまます。

コロナによる死者も問題ですが、様々な原因で自殺者が増えていることも無視できません。また、連日マスコミが医療の逼迫を報道しておりますが、この中で一番問題だと思うのは、コロナ患者さんの治療のために、本来治療を受けるべき他の疾患の患者さんの検査や手術などが後回しになっているということです。僕の患者さんでも、癌の手術でさえ1ヶ月延期になったと、すごく心配している方も見えます。日本の最近の医学界ではこのような経験をしたことはないのではないのでしょうか。

我々医師は目の前で苦しんでいる患者さんに対しては、一刻も早く治療をしてあげたいと常に考えているわけで、それがままならないということは、医師にとっても非常にストレスになるのではないかと思います。まさに日本でも医療崩壊は現実には起こっていると思われまます。

さあ、ではこの状態を脱却するためにはどうしたらいいのか、これは言うまでもなく多くの方がワクチンを一刻も早く打つということにつきると思います。日本人の接種対象の約7割の人が接種を受ければ、コロナ禍は収束に向かうのではないかとこの意見もあります。

日本は残念ながら本当に遅れてしまいましたが、5月からやっと一般の人のワクチン接種が始まりました。私のクリニックでも個別接種を行い、少しでも多くの人に接種をしたいと思っています。

残念ながら日本人はワクチンに対して偏見や、過剰な恐怖感を抱いている人が諸外国に比べて多いといわれています。確かに、過去にはワクチンが原因と思われる不幸な事件もいくつかあったわけですが、ただ、今回のコロナワクチンはその有効性が過去のワクチンに比べ図抜けており、感染予防効果、発症予防効果、重症予防効果が全て90%以上あるというワクチンは過去になかったのではないのでしょうか。

皆さんが毎年接種を受けているインフルエンザワクチンの予防効果は60%くらいといわれているのです。ですから皆さん、是非コロナワクチンの接種を受けてください。日本でも順調にいけば、年内には接種対象の人は全て接種を受けられるのではないかと思います。そうすれば、先行的に接種を行っている諸外国の状況を見ても、来年の夏頃からは収束に向かっているのではないかと思いますし、期待しています。

何か保健所の回し者か、池上彰の解説みたいな話になってしまいましたが、医師として、この不幸な世の中の状況が1日も早く終わってほしいという思いからこのような寄稿になってしまいました。

来年の四校リーグの頃にはコロナも落ちついて、また皆さんとお会いできることを願っております。

**四校リーグ(OBOG戦)中止のお知らせ**

例年 夏に開催しております「四校リーグ」ですが、昨年は「現役戦」は無観客試合で行い、OBOG 戦は新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

本年度も開催の可否に関して 他校の役員の方と相談いたしました。

遠方からの移動される方も多く、まだ現時点におきましては「開催すべきではない」という意見も多く 今年も昨年と同様に「OBOG戦」を中止いたします。

なお、「現役戦」につきましては、伝統ある四校リーグを存続させる意向に従い 昨年同様 無観客試合で実施いたします。(昨年は、男子が2勝1敗、女子が1勝2敗でした。令和2年度戦績参照)

早く「新型コロナ禍」が終息することを祈念し 来年は通常通り開催したいと思いますので、ぜひ皆さんご参加ください！

## OBOG総会中止のお知らせ及び役員留任のお知らせ

本来ですと4年に一度(四校リーグ当番年度)開催される「総会」が昨年開催されるはずでした。ただ、昨年は「四校リーグOBOG戦」も中止されましたので、総会を一年延期いたしました。本年、開催する予定でしたが、情勢を鑑み今年も「総会」を開催いたしません。「総会」は来年開催するのではなく次回の四校リーグ当番年次(2024年)に開催いたします。

通常「総会」においてOBOG会役員の改選を行います。今回総会が中止されたことにより、役員任期は次回総会まで留任いたします。

この役員留任の件は、「役員会」にて了承されましたのでご報告いたします。

一生懸命頑張りますので、引き続きよろしく願いいたします。

### 役員 (任期 令和6年8月まで)

会長 29 服部 敦  
副会長 33 吉田 悦子、38 村山 浩二郎、44 稲垣 直邦  
会計 59 井口 裕之、59 田代 雄祐  
会計監査 27 丹下 雅博、32 齋場 実  
幹事 28 遠山 美智子、45 岩下 大輔、51 山谷 奈津子、67 清水 千都  
相談役 18 若山 秀夫、20 今井 直、25 服部 保孝、元顧問高岸 郁夫 伊藤かおり  
顧問 井口裕之、小島徹也

## 愛知一中・旭丘高校バスケット部 OB・OG 会会計報告

令和2年年度決算報告 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)		令和3年度予算 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)	
(1) 収入の部		(1) 収入の部	
年会費	356,000	年会費(約200名分)	400,000
利息	5	利息	5
前年度からの繰越金	980,455	前年度繰越金	862,858
合計	1,336,460	合計	1,262,863
(2) 支出の部		(2) 支出の部	
通信費	94,689	通信費	80,000
印刷費	38,665	印刷費	50,000
事務費	0	事務費	10,000
会議費	0	会議費	50,000
事業補助費(四校リーグ、新年会等)	0	事業補助費(四校リーグ、新年会等)	100,000
現役補助費	340,248	現役補助費	300,000
次年度繰越金	862,858	繰越金	672,863
合計	1,336,460	合計	1,262,863

会費の納入は同封の振込用紙で1口1,000円です。できれば2口以上お願いします。

なお、新年会等の会場で現金での会費納入も大歓迎です。

昨年度は、四校リーグ、新年会が中止になり 会場でそれまで会場で集まっておりました「現金での会費納入」がなくなり、収入が減りました。会費の振り込みよろしく願いいたします。

OBOG 会の皆様、いつも温かいご支援ありがとうございます。現男子バスケ部顧問の井口です。男子バスケ部の顧問となって3年目、自分自身も鯉光館で汗を流した 59 期です。今回は日頃のご支援のお礼を述べさせていただくとともに、コロナ禍での現役の活動の様子をご報告させていただきたいと思っております。

思い起こせば 2020 年 2 月末に休校となり、毎年 4 月に実施される予定の総体予選は「中止」となってしまいました。ようやく 6 月ごろから部活動が再開されましたが、その時 3 年生だった 73 期の部員は、大会が実施されず、各々が、どのように引退するか、考えなければなりません。

その後、74 期の代になり、いくつかの公式戦は実施されるようになりました。ところが今度は 2020 年 8 月から 2021 年 2 月まで鯉光館が工事のために使えなくなりました。東スポーツセンターだけでなく、守山、ガイシ…と平日の授業後、様々なスポーツセンターに出かけて練習しました。その移動の際の交通費について、OBOG 会から支援をいただきました。本当にありがとうございます。練習時間があまりとれず、練習内容についても、緊急事態宣言下でコロナ感染拡大対策として制限がかかる中、部員たちは工夫して練習に取り組んでいました。

先日の 4 月の総体では、無観客ながらも男子、女子ともコートの上で立派な姿を見せてくれました。男子は名北支部四位となり、**県大会にも出場することができました**。ただ、結果はどうあれ、生徒たちが様々な苦難を受け入れ、乗り越えて、最後までやり切ったことが、男子部女子部ともに称賛されるべき振る舞いだったかと、顧問として、また、OB の一人として、感心しております。

また代も変わり、新チームが始動していますが、コロナに注意しながら活動する状況は依然として変わりません。今後とも応援どうぞよろしくお願いいたします。

## 新チーム紹介

### <男子キャプテン>

今年は、21 人のプレイヤーと 2 人のマネージャーで活動しています。そして、井口先生にご指導して頂いています。今年のチームは、「ディフェンスから点を取る」ことをコンセプトに、持ち前の運動量をさらに強化し、強いチームにも走り負けしないチームを目指していきます。

去年に引き続き、コロナ禍という状況で、練習時間の制限などチームは厳しい環境下にあります。このような状況でも、頼りになる仲間と、いかに時間を有効に使い、努力していくかを主体的に考え、制限を感じさせないようなチームを創っていきます。

目標は名北優勝。達成までの道のりは険しいものになると思われませんが、チームの仲間と共に切磋琢磨し頑張っていきますので、これからも応援よろしくお願いいたします。

### <女子キャプテン>

今年度は、新入生 8 人が仲間に加わり、2 年生 7 人の計 15 人で活動しています。

昨年度は、コロナ禍の影響で、大会の中止や対人練習の自粛など、さまざまな制限を受けました。

現在も、感染防止対策に気を配らなければならない状況が続きますが、私たちが今できることを大切にして、日々の練習に励んで行こうと思います。

皆が信頼する小島先生のご指導のもと、一人一人が思いを伝え合い、考えを共有して、全員でチームを作り上げていきたいです。

最後になりましたが、昨年度、鯉光館の改修工事があり、練習のために、学校外の体育館へ出向きました。その際の交通費を OB・OG 会より補助していただき、ありがとうございました。

今後とも、旭丘バスケットボール部を応援よろしくお願いいたします。

令和2年度の戦績（得点は旭丘が左側です）

年	大会名	男子			女子		
		回戦	対戦相手	得点結果	回戦	対戦相手	得点結果
2年	市内県立	中止			中止		
	名北夏季選手権	1回戦	春日井東	20-0	1回戦	明和	44-61
		2回戦	千種	30-76			
	ALL AICHI	1次T	至学館	68-63	1次T	中部大春日丘	48-49
		1次T	市工芸	41-47			
	AZA 定期戦		熱田	61-51		熱田	51-97
			瑞陵	92-45		瑞陵	56-36
	新人戦	1回戦	高蔵寺	71-62	1回戦	愛工大名電	67-54
		2回戦	千種	42-80	2回戦	名東	41-68
	四校リーグ		菊里	40-79		明和	56-62
		向陽	74-56		向陽	78-29	
		明和	70-51		菊里	61-73	
3年	総合体育大会	1回戦	愛知	82-59	1回戦	聖霊	113-24
		2回戦	瀬戸西	70-54	2回戦	市工芸	73-32
		3回戦	高蔵寺	81-64	3回戦	瀬戸西	46-85
		準決勝	名古屋	50-85			
		3決	春日井南	63-71			
		県大会1回戦	刈谷	65-66			